

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
どよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 実施日 2021年1月29日(金) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
2829 0	曜日指定 多発性骨髄腫 マルチパラメーター フローサイトメトリー (8color)	骨髄液 2.0 (EDTA-2Na加)	PN2 PN5 (C)	室温	4~6	1940 ※3	フロー サイト メトリー		重凍 骨髄液をEDTA-2Na入 りの採血管に採取し、室温 にてご提出ください。 受託可能日は月~金曜日 です。 実施項目は下記をご参照 ください。 他項目との重複依頼は避 けてください。

※3：血液学的検査判断料

●多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー (8color) のご依頼について

1. 検体は採取後、当日中にご提出ください。
2. 骨髄液をEDTA-2Na入りの採血管に採取し、室温にてご提出ください。
3. 本項目は、多発性骨髄腫の患者に対して、8カラーのマルチパラメーターフローサイトメトリーを用い、1,000万個以上の白血球の解析が可能です。



● 多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー（8color）

多発性骨髄腫の患者に対して、マルチパラメーターフローサイトメトリーにて、1,000万個以上の白血球を解析する検査です。

多発性骨髄腫の一部の症例では、造血幹細胞移植や新規薬剤治療によって、腫瘍細胞が極めて微量になる分子的完全寛解が達成できるようになってきています。

多発性骨髄腫における微小残存病変（MRD）の検出に関しては、国際骨髄腫ワーキンググループ（IMWG）のMRD診断基準が提唱されています。その診断基準でのFlow MRD-Negativeとは「Next-generation Flow（NGF）（Euro Flowによる標準的MRD検出方法あるいは有効性の確認された同等の方法で、最低 10^5 以上に1個の検出感度）による骨髄中の異常な表現型を有するクローナルな形質細胞陰性」と定義しています。本検査は多発性骨髄腫の患者に対して、8カラーのマルチパラメーターフローサイトメトリーにて、1,000万以上の白血球の解析が可能です。

▼疾患との関連

多発性骨髄腫

▼関連する主な検査項目

多発性骨髄腫解析検査
CD38マルチ解析（造血器悪性腫瘍細胞検査）

▼検査要項

検査項目名	曜日指定 多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー（8color）
項目コードNo	28290
検体量	骨髄液 2.0 mL
容器	PN2, PN5 (C) EDTA-2Na入り
保存方法	室温保存してください
所要日数	4～6日
検査方法	フローサイトメトリー
基準値	
検査実施料	1940点 （「D005」血液形態・機能検査「15」）
判断料	125点（血液学的検査判断料）
備考	重凍 骨髄液をEDTA-2Na入りの採血管に採取し、室温にてご提出ください。 受託可能日は月～金曜日です。 実施項目は下記をご参照ください。 他項目との重複依頼は避けてください。

項目	検出抗体
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー（8color）	CD19 CD27 CD38 CD45 CD56 CD138 c γ g κ c γ g λ

※CD38抗体はマルチエピトープ抗体を使用しております。

●多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー（8color）のご依頼について

1. 検体は採取後、当日中にご提出ください。
2. 骨髄液をEDTA-2Na入りの採血管に採取し、室温にてご提出ください。
3. 本項目は、多発性骨髄腫の患者に対して、8カラーのマルチパラメーターフローサイトメトリーを用い、1,000万個以上の白血球の解析が可能です。

●参考文献

Takamatsu H, et al : Int J Hematol 109 (4) : 377～381, 2019. （検査方法参考文献）
Pavia B, et al : Blood 125 (20) : 3059～3068, 2015. （臨床的意義参考文献）